



むなかた市議会だより

令和5年3月定例会号

●発行 / 宗像市議会 ●編集 / 議会広報編集部
●〒811-3492 福岡県宗像市東郷一丁目1番1号
●TEL 0940-36-1119 FAX 0940-36-8591
●市議会ホームページ=<http://www.city.munakata.lg.jp/050/080/index.html>

令和5年3月定例会のあらまし

令和5年度当初予算
賛成多数可決

一般会計

412億3651万5千円

令和5年第1回宗像市議会定例会を、2月24日から3月24日までの29日間で開催し、市長提案議案36件、議員提案意見書案2件、発議4件を審議し、全て同意、可決しました。今定例会では、令和5年度の予算を審議し、賛成多数で可決しました。

定住都市むなかたの実現に向け、これまでの主要施策である防災・減災、脱炭素、都市再生、教育、子育てに加え、重層的支援体制整備、食のまちに力を入れた予算編成が行われています。1ページに予算の主な事業の概要と予算委員会での主な質疑について、2ページに主な議案と議員の賛否について掲載しています。

分別収集事業費

1億4,294万8千円

使用済みのペットボトルを新しいペットボトルに水平リサイクルするボトルtoボトルの仕組みが構築できるよう実証実験を行う。



BOTTLE to BOTTLE

主な質疑

問 ボトルtoボトルの実証実験とは具体的に何をするのか。
答 ペットボトルを再度ペットボトルに戻すリサイクルをボトルtoボトルと呼び、ペットボトルを分子レベルまで細かくしてリサイクルすることで、ラベルなどがついていてもリサイクルできるケミカルリサイクルなどの実証実験を行う。

重層的支援体制整備事業費

356万6千円

複雑・複合化している市民の生活課題解決に向けて相談連携体制のさらなる強化を行うため、相談情報を共有するためのシステム構築などに取り組む。



主な質疑

問 どういった相談を想定しているのか。
答 ダブルケアやヤングケアラー、8050問題など、福祉4分野(高齢、障がい、子ども、生活困窮)にまたがるひとつの分野では解決ができないような課題に対する相談を想定している。

道路維持管理費

5億4,951万7千円

市ホームページから道路台帳が確認できるよう道路台帳のデジタル化を実施し、利用者の利便性向上や窓口などでの対応業務の負担軽減を図る。



主な質疑

問 道路台帳デジタル化のメリットは。
答 現状では、家の建築時に前面に道路があるかどうかや、道幅の確認などは窓口に来てもらう必要があるが、デジタル化により、窓口に来なくてもホームページやスマートフォンで確認できるようになる。

グローバル人材育成推進事業費

4,037万3千円

小学校4年生を対象に実施していたイングリッシュキャンプを中学生にも拡充する。大学や企業、地域と連携して実施するむなかた子ども大学について、令和5年度は拡充し、年間を通してさまざまな取り組みを実施する。



イングリッシュキャンプの様子

主な質疑

問 イングリッシュキャンプの中学生への拡充とあるが、小学生との違いは。
答 小学生と同じ形式で子ども6人に外国人講師を1人派遣する。中学1年生の年度末に実施することで、中学校で学習した英語表現を積極的に使用してもらい、実際に外国人に伝わった喜びを感じてもらうことで学習意欲の向上を図る。

子ども家庭センター整備関連事業

- ・出産・子育て伴走型支援事業費 8,843万6千円
- ・子ども家庭相談事業費 804万2千円
- ・妊娠包括支援事業費 2,849万8千円

各家庭の実情の把握、相談体制、関係機関との連携を拡充・強化し、妊娠期から切れ目のない子育て支援の充実、あらゆる子ども・家庭に対する相談支援体制の強化を図る。



主な質疑

問 産後ケア事業のニーズの実態は。
答 令和4年4月からスタートし徐々に周知が進んでいる。2月から伴走型支援事業も始まり、新たに7~8か月の妊娠婦面談などが始まるため、さらに周知が進むと見込んでいる。

適応指導教室運営費

1,843万3千円

子どもの自立サポートセンター「ホープ」を令和5年4月に開設し、ひきこもり傾向にある不登校児童生徒の支援の拡充を図る。



子どもの自立サポートセンター「ホープ」

主な質疑

問 「ホープ」と教育サポート室「エール」の連携は。
答 双方の職員が随時協議やそれぞれの子どもの情報を共有する場を設け、1人1人にきちんとした指導ができるよう調整や連携をしていく。また学校やスクールソーシャルワーカーとも連携していく。

●●● 令和5年第1回宗像市議会定例会 議案名と議決結果 ●●●

3月定例会で審議した議案のうち、主な議案を紹介します。全ての議案の議決結果はホームページでご覧いただけます。

【全員賛成で可決した主な議案と内容】

議案名	内 容
宗像市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について	一般職の任期付職員の職務の級及び号給を定める等のため、条例の一部を改正するもの
宗像市屋外広告物条例の一部を改正する条例について	屋外広告物を原因とする事故防止策強化のため、条例の一部を改正するもの
宗像市議会委員会条例の一部を改正する条例について（議員発議）	宗像市行政組織条例の改正に伴い、委員会が所管する部が変更となることから条例の一部を改正するもの

【賛否が分かれた議案と議決結果（○：賛成した人 ◆：反対した人）】

議案番号	議案名	議員氏名 議決結果	川内 亮	石松 修	木藤 裕司	石田和代志	岩岡 良	上野 崇之	井浦 潤也	笠井香奈枝	小林 栄二	吉田 剛	森田 卓也	安部 芳英	岡本 陽子	北崎 正則	伊達 正信	福田 昭彦	新留久味子	石松 和敏
14	宗像市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○
28	令和5年度宗像市一般会計予算について	原案可決	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○
29	令和5年度宗像市国民健康保険特別会計予算について	原案可決	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○
30	令和5年度宗像市後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○
31	令和5年度宗像市介護保険特別会計予算について	原案可決	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○
34	令和5年度宗像市下水道事業会計予算について	原案可決	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○

※神谷建一議長には、賛成・反対の意思表示をする表決権がありません。ただし、賛成・反対が同数になった場合、可否を決める裁決権があります。

道路法の規定に基づき、市道路線の認定を行うものです。委員会では実際に現場を訪れ、現地確認を行いました。

線に認定
日の里5丁目23号線、日の里5丁目24号線、田熊71号線、須恵90号線、須恵91号線、須恵92号線、大井41号線、東町3号線



現地確認の様子
(日の里5丁目23号線、24号線)

主な議案

市道路線の認定について

令和5年度の国民健康保険税率（額）を検討した結果、現行の税率（額）のままでは、医療給付費分、後期高齢者支援金分、介護納付金分を合わせて約9700万円の収入不足が見込まれることとなりました。医療給付費分については、国民健康保険制度の改正に伴う国民健康保険税の大幅な税額の引上げを緩和するために国民健康保険基

金を活用して税率（額）を据え置きますが、後期高齢者支援金分と介護納付金分については、歳入不足分全額について税率（額）を改定して賄います。

また、新型コロナウイルス感染症の影響による国民健康保険税の減免について、令和4年度で国の財政支援は終了しますが、令和5年度は市独自の減免制度として継続した上で判定基

率（額）改定について、宗像市国民健康保険運営協議会で出た意見は、基金などからの繰入れによる税率（額）の据置きや引下げの意見もあったが、後期高齢者支援金分や介護納付金分は今後増加の一途をたどるという予測を踏まえ、税率（額）改定については全会一致で承認されている。

主な質疑

準を国の基準に見直しま

主な議案

宗像市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

学童保育所の休所日に12月29日を追加し、年末年始の休所日を12月29日から翌年1月3日までの6日間とします。

また、冬休み期間中の開所日数が減少することに伴い、冬休みの臨時利用料金を4000円から3000円に減額します。

宗像市学童保育所条例の一部を改正する条例について

（賛成者の意見）

主な意見

学童保育所は保育所の延長線上にあると考えており、12月29日の休所は保育所との整合性も取れ、支援員の働き方改革にもつながると考える。

意見書

2件の意見書案を可決し、国に提出しました。

帯状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書の提出について

（全員賛成で可決）

（趣旨）

帯状疱疹は、過去に水痘に罹患した者が、加齢や過労、ストレスなどに伴う免疫力の低下により、体内に潜伏する帯状疱疹ウイルスが再燃し、発症するものである。

日本人では、50歳代から発症率が高くなり、80歳までに3人に1人が発症するといわれており、治療が長引くケースや後遺症として痛みなどの症状が残るケースもある。

この帯状疱疹の発症予防のためには、ワクチンが有効とされているが、接種費用が高額になることから接種を諦める高齢者も少なくない。

帯状疱疹による神経の損傷によって、その後も痛みが続く「帯状疱疹後神経痛」と呼ばれる合併症に加え、角膜炎、顔面神経麻痺、難聴などを引き起こし、目や耳に障がいが残ることもあるといわれている。

そこで、政府に対して、一定の年齢以上の国民に対するワクチンの有効性などを早急に確認し、帯状疱疹ワクチン接種に係る助成制度の創設と予防接種法に基づく定期接種化を強く求める。

保育士配置基準の引上げによる保育士増員を求める意見書の提出について

（全員賛成で可決）

（趣旨）

「コロナ禍で保育所の重要性は、広く社会に認識されるようになったが、感染対策を徹底しながら子どもの発達を保障し、子育て家庭を支えるには、現在の配置基準は不十分であり、子どもの命と安全を守るためにも保育士増員が急務となっている。

小学校では、全学年での少人数学級化が順次実現されており、2021年度一学校基本調査」によれば、公立小学校の学級当たりの平均児童数は既に22・7人となっている。一方で、小学生よりも若い乳幼児が長時間生活する保育所などの4・5歳児の配置基準（子ども30人に保育士1人）が、基準制定以来70年余り経過している。

国は、2023年4月に「子ども家庭庁」を創設して、これまで以上に子ども関連施策の充実・推進を目指し、予算も倍増するとしており、今こそ保育関係予算を大幅に増やし、保育士配置基準の引き上げによる保育士増員、処遇改善に努める必要がある。

よって、国において、必要な財源を確保し、次の事項について実現されるよう、強く求める。

▼保育士配置基準の引き上げによる保育士増員を図ること。

▼保育士などの処遇改善を図ること。

会派の主張

宗像市議会には、令和5年3月1日現在で、8つの会派があります。
それぞれの会派の活動方針などを紹介します

宗像志政クラブ

代表

伊達 正信

心を合わせて宗像づくり



(後列左から) 木藤裕司議員、安部芳英議員、小林栄二議員、石田和代志議員、井浦潤也議員、石松修議員、(前列左から) 神谷建一議長、伊達正信議員、吉田剛副議長

私たちの会派は農家、飲食店、保険、観光、自営業など、さまざまな事業経験のあるバラエティー豊かな議員で構成し、日々の経済活動を通じて培ってきた民間視点を宗像のまちづくりに生かすべく、議論をしながら一致団結して進んでいます。

それぞれの議員が自治会・コミュニティ活動や青少年育成、スポーツ指導者、交通安全見守り、まちづくりイベントなど、それぞれの地域に根差し、一市民として、また当事者として深く関わりながら声なき声を聴き、想いを受け止め、地域の課題の解決のために市政に反映できるよう積極的に取り組んでいます。

令和4年度は、保育士の処遇改善や学校改修工事の予算措置について国会議員への要望活動を行ったり、介護・障がい者等施設の支援策について関係者から話を伺い、会派で取りまとめ、市長に要望活動を行ったりしました。また、県議と連携して第一次産業関係者との意見交換会も積極的にに行い、いただいたご意見を参考に調査研究し、改善提案や要望活動につなげました。

私たちの行動によって実現できた取り組みも、確実に増えてきていると手応えを感じています。令和5年度も最大会派として国・県とのつながりや人脈を生かし、前向きな提案を行いながら、より良い宗像づくりにつながるように努力してまいります。

公明党

代表 石松 和敏

「市民目線・生活者視点」で
市政をチツク

私たち公明党議員は「大衆とともに」の立党精神を堅持し、基本姿勢として「市民の目線」「生活者の視点」の立ち位置で、今後とも地域や市民の小さな声を聴き寄り添って課題解決に向けて活動してまいります。

市政においては、ロシアによるウクライナ侵攻で日常生活に不可欠なエネルギーや食料品などの価格高騰が続ぎ、多くの市民が苦勞している中で家庭や事業者の経済的負担を軽減するため、下水道使用料減免、学校・保育所などにおける給食費補助

や、高齢者・障がい者施設や運送事業者などに対する物価・燃油高騰支援など地方創生臨時交付金を積極的に活用するよう要望し実現しました。
さらに学校プールの老朽化に伴う水泳授業の民間委託や、投票率向上に向けたサンリブ宗像店における期日前投票所の開設など数多くの政策提案を実現しています。
今後とも市政運営や予算について監視するとともに提案してまいります。

(左から) 岡本陽子議員、石松和敏議員



未来むなかた

代表 北崎 正則

「未来のむなかた」へ向けて

私たち「未来むなかた」は、2期目の上野崇之、3期目の北崎正則の2人の会派です。
会派のモットーは、「市民目線・市民感覚を大切に」です。

まずは聴かせていただく、次に解決策を練り出し、提案をするという課題解決型の流れを大切にしています。

このことに我々もやりがいと責任を感じています。

活動については次のことを大切にしています。

- ▽安全・安心なまちづくり
 - ▽都市再生の推進
 - ▽スポーツと健康の一体的取り組み
 - ▽産業や観光などで地域の活性化
 - ▽教育のさらなる充実など
- 市民の方々と各種団体との意見交換会、視察研修などを積極的に取り組んでいます。いつでもお声掛けください。

(左から) 北崎正則議員、上野崇之議員



日本共産党

代表 新留 久味子

今こそ！
命・暮らしを
守るために全力で奮闘



(左から) 新留久味子議員、川内亮議員

昨年10月に末吉議員が逝去し、私たち日本共産党宗像市議団は、大きな柱を失いました。

しかしながら、今後も党是である「国民の苦難軽減」のため、新留久味子、川内亮、2人の議員で今まで以上の奮闘を続けていく決意です。

新型コロナウイルス感染症と記録的な物価高騰の中、市民生活はますます厳しくなっています。

私たち日本共産党市議団は、こんな時だからこそ、基金などを積極的に活用した国民健康保険税や介護保険料の引き下げなどを、市に求めています。

また、宗像市では、高齢者の移動手段確保が喫緊の課題となっています。

他の自治体でも実施されている移動手段を持たない高齢者のためのタクシー乗車券制度の実現など、免許返納などの理由で車を手放した高齢者も、安心して住み続けられる宗像市を目指して頑張ります！

市民連合

代表 福田 昭彦

市民目線で
市政を厳しく
チェックしていく



市民連合は、市民の声を市政に反映していく会派です。常に市民目線で市政を監視することが大変重要だと考えます。

時に行政は、市民不在のまま政策を押し進める可能性があります。

行政が行う施策が果たして市民に本当にプラスになるのかどうかを市民目線で厳しくチェックし、市民ファーストになる施策を推進していかなければならないと考えます。

どの政党にも属さない、この団体にもつながっていない、完全無所属会派だからこそ、市民の立場に立つて自由に意見を主張することができる会派なのです。

日本維新の会

代表 岩岡 良

古い政治を壊し、
新しい政治を創る



日本維新の会は、「これまでの政治の延長線上に解決策はない」という理念の下、「改革」によって政治を前に進めます。国や県の判断がなければ市民の生活を守れない現行の地方自治制度を根本から見直し、権限と財源の地方移転を希求します。

眼下に広がる課題を同質・同様のものとして次世代に引き継がせることがないよう、逃げることなく課題の本質に焦点を当てた議論を展開します。

そのために自らしがらみを断つべく、特定の団体・組織から一切の支援を受けません。本当に必要な方への支援を可能とするため、「身を切る改革」を実践し、さらなる議会改革・行財政改革から財源捻出に挑みます。

ふくおか市民政治
ネットワーク

代表 笠井 香奈枝

誰もが孤立せずに、
安心して
暮らせるまちに



ふくおか市民政治ネットワークは、この33年間、宗像市議会に女性議員を送り出し、市民の声を市政に反映させるために活動してきました。

特に、子育て・介護などで孤立することなく、誰もが安心して住み続けられるまちにしたいと思い、市民の皆さんの困りごとや悩みに寄り添い、共に解決策を考え、市に政策提案などを行っています。何よりも「いのち」と「暮らし」を守ることを最優先に考え、子どもたちの未来に希望が持てる社会を目指しています。

厳しい財政状況が続く中、これから市の事業・予算については、市民目線でしっかりチェックします。暮らしと議会をつなぎ、情報発信に努めながら活動を進めていきます。

未来保守クラブ

代表 森田 卓也

10年後もつと
誇れるまち宗像へ



令和4年3月議会から会派「未来保守クラブ」を設立して活動しています。私は、市民の皆さんが郷土への誇りと未来への夢を抱き、さらなるまちの発展を期待していると感じています。

このため、これからも市民の皆さんとの「未来志向の対話」を重視し、商工業、農業、漁業、教育、福祉など、さまざまな分野で施策を展開させていき、若者が戻り、活気あふれる街、暮らしやすい街を、行政との協調を基本に力タチにしていきます。

「10年後もつと誇れるまち宗像へ」未来志向で前向きな会派「未来保守クラブ」を、これからもよろしく願っています。

代表質問

代表質問とは、市政の基本方針である施政方針に対して2人以上で構成する会派の代表質問者がその見解を問うものです。

○令和5年2月27日に4つの会派が令和5年度施政方針に対して質問を行いました。

○令和5年度施政方針は5月号のむなかたタウンプレスや市ホームページに掲載しています。

宗像志政クラブ



代表質問者
安部 芳英

施政方針について



問 学校給食について、地場産物の利用を促進し、食育の推進や環境負荷の低減、地域の活性化などにつなげるとあるが、物価高騰の中で具体的にどのような取り組みをするのか。

答 物価高騰による保護者の負担軽減のため、令和5年度も給食費を据え置くための補助を継続する。また、地場産物の利用については、新たな予算措置の必要性も視野に入れながら、生産者や直売所、学校をはじめ関係者の間で連携し、議論や協議、調査研究などを積み重ねていきたい。

問 介護施設の過酷な運営状況や職員の業務の様子については、関係者からの声を聞いて、市に要望書を提出した。市に早急に対応してもらい、現場からは感謝の声があったが、まだまだ大変だという声を聞いている。介護事業所などへの支援について、今後の展望は。

答 令和5年度において、次期介護保険事業計画策定のため、市内介護サービス事業者に対し、ヒアリングなどを実施する予定としている。介護サービス事業者における現状を把握し、必要な取り組みなどを検討していく。

問 市民のスポーツ・運動の推進、また青少年健全育成の観点



から、公共施設の照明利用料減免を検討できないか。

答 受益者負担の原則のもと、次の使用料見直しの議論の中で、これまでの利用状況や青少年育成を含めたさまざまな視点を持って、使用料だけではなく、減免の対象についても見直していく。

問 赤間駅周辺など、浸水被害リスクを低減させるための取り組みは。

答 新たな水路やポンプの整備など、流下能力を高めるための「ながす」対策を優先しつつ、雨水貯留施設や田んぼダムの整備など、流出を抑制するための「ためる」対策も講じていきたい。

問 世界遺産センターに関する今後の展望は。

答 現時点では、海の道むなかた館をはじめとする既存施設の活用を基軸に検討することとしており、整備については財政的な負担を含め、県、福津市、宗像大社と本市で構成する世界遺産保存活用協議会をはじめ、関係機関と協議、検討を進めていくべきだと考える。

公明党



代表質問者
石松 和敏

持続可能な自治体経営を



問 子育て支援として医療費助成を高校3年生まで対象拡大ができないか。

答 市単独での拡大は難しい。現在、国や県で少子化対策として施策拡充を議論しており、これらの動向を注視していく。

問 同様に、0から2歳児の保育料無償化の対象拡大ができないか。

答 市独自での無償化は難しい。国が異次元の少子化対策を行う方針を出しているため、今後の国の支援策などの動向を注視していく。

問 同様に、教育費が膨らむ中学生のいる家庭の負担軽減のため、給食費を無償化できないか。

答 給食費は食料費のみを保護者負担としており、無償化は考えていない。地産地消の観点から地場産物の利用促進など、給食の質向上に努めていく。また、物価や燃油高騰による負担が増えないよう、食料価格高騰分を市から補助することで給食費を据え置いており、令和5年度も継続する。

問 「書かない窓」の導入が増えており、先進自治体の事例を参考に導入を検討できないか。

答 マイナンバーカードの利用促進の観点から導入に向けた検討を進める。



未来むなかた



代表質問者
北崎 正則

「未来のむなかた」へ向けて



問 ウェブ面接の導入などで多様な人材を採用できるようになったが採用辞退者も増えた。今後の職員採用はどうするのか。

答 市の魅力を発信しながら採用試験の大幅な見直しを行うとともに、市職員の処遇改善にも取り組む必要があると考える。

問 城山中学校はコミュニティスクールの考え方も取り入れた校舎建築が必要だと考えるが工夫は。

答 地域連携室や多目的室を設置し、学校開放などで地域の活力を生み出す拠点の役割を期待する。

問 老朽化が進む市民体育館は、建て替えなどの検討が必要では。

答 まずは現状を的確に把握し、整理する。

問 日の里1丁目団

地103、104号棟跡地活用の進捗は。また、自由ヶ丘3丁目周辺への施設の集積や交通結節機能の充実に向けてどのように取り組むのか。

答 103、104号棟跡地は都市機能の集積や生活利便性の向上につなげる必要があると考え、コミュニティ運営協議会と先進地視察や意見交換をしている。また、自由ヶ丘地区はエリアごとの実情に応じた再生事業を検討していく。



日本共産党



代表質問者
川内 亮

施政方針について



問 ユリックスで昨年行われた自衛隊のイベントでは、自動小銃を携帯する隊員の写真や、島の奪還作戦として島に戦車が上陸する映像などが流されていた。ユリックスは市民の政治的分断が起こる場であってはならないと考えるが、市の考えは。

答 写真や映像は、自衛官募集の啓発で設置されていた。ユリックスは大規模災害発生時の自衛隊支援活動の防災拠点となるため、災害支援活動の理解を深める機会としての開催

であり、ユリックスの経営方針に即していきと考える。

問 コロナ禍の中、学校給食の無償化に取り組む自治体は約3割にのぼっている。本市も取り組むべきではないか。

答 学校給食法を基本に、学校給食に係る経費のうち食料費のみ保護者負担としており、無償化は考えていない。

問 宗像市では免許を返納するなどの理由で車を手放す高齢者が増加している。公共交通網の充実が本市の最重要課題だと考えるが、市の考えは。

答 市民の移動手段確保は重要課題である。地域の実情に応じた公共交通の在り方を検討している。



一般質問とは、議員が市の行政事務全般について市の見解を問うものです。

令和5年3月定例会

一般質問

令和5年2月28日から3月2日までの3日間にわたって、14人の議員が合計25項目の質問を行いました。

◆質問を行った順に掲載しています。 ◆掲載する項目や内容は質問を行った議員に確認したうえで掲載しています。 ◆質問の詳細については、宗像市議会ホームページの録画映像もしくは5月下旬に公開予定の議事録をご覧ください。



医療用ウィッグ購入費助成を
公明党／岡本 陽子



本市において医療用ウィッグ購入費助成を希望する市民の声がある。患者の社会参画を後押しする観点から助成を実施する必要があると考える。



問 令和5年度から新たに実施する。医療用ウィッグ、胸部補正下着や術後リンパ浮腫をケアする弾性着衣などの補正具購入費の原則2分の1を助成する。上限額はあるが、購入する用具の個数は問わない。県が医療機関と連携し算定した市町村ごとの人数を基に、本市では医療用ウィッグを必要とする対象者を13人、補正具などを必要とする対象者を3人と見込んでいる。

その他の質問

小学校での教科担任制導入の考えは



公務員の副業解禁で人手不足解消
宗像志政クラブ／石田 和代志



問 他自治体では作業内容や時間の制限を設けつつも地域産業の振興に資することから、公務員の副業に農業を認める動きが増えている。本市で取り組む場合の課題は。

答 農業全般での副業は可能だと考える。利害関係や時間数が課題になってくるが、実際の運用に向けた具体的なルールづくりの中で解決していきたい。

地域の稼働力の強化

問 ふるさと寄附活用事業者応援補助金の活用方法とその効果は。



宗像の特産品

答 事業者の商品開発や既存設備の拡充による生産能力の拡大、加工場の新設などへの活用を想定している。新しい返礼品の開発や既存の返礼品の供給力の拡充につながり、地域循環率も向上すると考える。ふるさと寄附金のさらなる獲得につなげていきたい。



大島 地島の今後の島づくりは
宗像志政クラブ／小林 栄二



世界遺産を守り 伝え生かすために

問 新たな離島振興計画の概要とその特色は。
答 改正離島振興法の内容を盛り込むとともに、離島振興の主体は島民であることを意識した内容となっている。

問 新たなセンターの整備となると、本市単独で進められるものではない。センターの考え方を整理するためにも、保存活用会議で検討の場が開かれるよう働きかけたい。



沖ノ島



自由ヶ丘地区団地再生への展望
未来保守クラブ／森田 卓也



問 自由ヶ丘地区の特徴を生かした団地再生についてどう考えているか。
答 エリアごとに高齢化の状況や抱える課題が異なっており、地区全体を一括りで考えるのではなく、エリアごとに再生の方向性を検討し、生活利便性を向上させていく。

問 住民アンケート、ワークショップの結果から見えてきた地区の課題は。
答 通院や買い物への移動手段の不足、将来的な家の管理への不安、住民同士のコミュニケーションの不足、地区南部への



自由ヶ丘地区南部交差点付近



オンデマンドバス実証実験の評価
市民連合／福田 昭彦



令和元年9月議会から今回で7回目のオンデマンドバスについての一般質問となる。近年、自家用車を持たない高齢者に対する公共交通の役割は一層大きくなっているため、西鉄バスが日の里地区から撤退した後の代替交通機関確保は喫緊の課題である。

問 オンデマンドバスの2年間の実証実験が終わろうとしている。その評価と将来展望を伺う。

答 平日の平均利用者は当初の1.5倍、アプリ登録者は当初の3.5倍と増えている。事前



オンデマンドバス「のるーと」



健康寿命を延ばそう
宗像志政クラブ／伊達 正信



問 「ふくおか健康づくり県民運動」の中に「ふくおか健康ポイントアプリ」がある。本市でもアプリを活用した事業に取り組んでいるが効果は。

答 本市のアプリ登録者は2400人で県内でもトップレベルである。地域で活用してもらうことで、仲間の活動状況が励みになり、また見守り効果にもつながっている。

問 ペットを飼っている高齢者は飼っていない人よりも介護費が抑えられているという研究結果がある。関東ではペットと



答 暮らせる賃貸住宅を提供する会社も多い。アニマルセラピーに着眼した仕組みとして、市営住宅などでペットを飼える環境を整えることもまちづくりと考えるがどうか。
答 県ではワンヘルス（※1）を推進しており、市としても今後のまちづくりにワンヘルスの視点は必要と考える。



消費者教育・啓発の強化を
ふくおか市民政治ネットワーク／笠井 香奈枝



問 消費者トラブル防止のための市の取り組みは。
答 消費生活センターでの相談受付のほか、啓発講座の開催や広報紙での啓発、LINEなどによる情報発信を行っている。

問 市民が消費者トラブルに遭った場合の消費生活センターの対応は。
答 消費生活センターで資格を有する相談員がその経緯を詳細に聞き取り、問題解決できるよう、あつせんや助言などを行う。

問 消費者トラブル防止のため、啓発リーフレットを作成してはどうか。



答 各年代に応じた啓発が重要であり、高齢者には紙媒体の広報も有効であると考えている。リーフレットの作成なども含めて有効策を検討したい。
問 本市の消費者教育でも、県などが作成した小・中学生向けの副教材を活用してはどうか。
答 実物を取り寄せ、活用について検討したい。



畜産業の持続的な経営について
宗像志政クラブ／木藤 裕司



問 畜産業に関する苦情の現状とその対応は。
答 臭気に関するものが大半で、苦情があつた際は詳しく状況を聞き取り、速やかに職員が対応している。事業者にもその内容を伝え、臭気軽減に努めるよう要請している。

問 市でも臭気軽減対策を研究し、取り組んでは。
答 畜産業と共存共栄を図るうえで臭気対策は不可欠である。市として臭気軽減の取り組みができないか研究していきたい。

問 消防団の充実・強化
消防団員の減少と高



日頃の訓練の成果を披露する消防団

問 消防団の入団活動については消防団を応援する機運を高めることが何より大切であると思うが、今後の理解促進の方策の中にその視点を含め検討していきたい。

（※1）ワンヘルス＝人と動物の健康、それを取り巻く環境を、生態系の中で相互に密接につながり、強く影響し合う「一つの健康（One Health）」と考え、これらの健全な状態を一体的に守るため、医師、獣医師、行政関係者などが協力して課題を解決するための取り組み

(※2) Maas II 地域住民や旅行者一人一人の移動ニーズに対応して複数の公共交通などを組み合わせて検索、予約、決済などを一括で行うサービス
(※3) ローリングストック II 普段の食品を少し多めに買い置きして置き、賞味期限を考えて古いものから消費し、消費した分を買い足すことで、常に一定量の食品が家庭で備蓄されている状態を保つための方法



子育て支援の拡充を 日本維新の会／岩岡 良



問 岸田政権の異次元の少子化対策では、児童手当の所得制限撤廃などが検討されているが、対象者は極めて限定的で、実際に軽減される子育て世帯の負担額は決して大きくない。国の施策だけでは少子化の歯止めにならないことが明白な以上、市独自の支援が重要である。本市独自で第2子以降0から2歳までの保育料無償化や学校給食費の無償化を検討できないか。

答 子育て支援だけでなく、効果的に予算を活用したい。

その他の質問

宗像市での起業を呼び込む地域的な経済ビジョン



問 財源のめどなく簡単



都市再生の推進は 宗像志政クラブ／吉田 剛



問 UR日の里1丁目団地南街区跡地を駅前的一部として捉え、広場や日の里大通りも含めて一体的にデザインすべきでは

答 日の里大通りに新たな人の流れを生み出し、居心地が良く歩きやすくなる空間を創出し、地区の価値を高めるため一体的デザインは必要と考える。

問 将来を見据えた地域公共交通体系の構築は、公共交通の利用促進や利便性向上を図る。またMaas II(※2)の導入調査や新技術を活用したモビリティサービスについて検討していく。



解体工事が始まった日の里1丁目団地の103、104号棟



むなかた子ども大学の充実を 宗像志政クラブ／井浦 潤也



問 むなかた子ども大学は、1日目は各学校で全小学生、2日目は応募した小中学生418人に対しさまざまな講座や体験学習を実施したが、その成果は。

答 講座を通して、子どもたちが夢や志を大きく膨らませ、実現したいという気持ちを強くしたことが多くある。



むなかた子ども大学での「大豆を学ぼう」の様子

物価変動に対応した契約事務について

問 専門的な体験講座には、教材などの予算が必要と考えるが。

答 教育委員会内で優先順位を考え、検討したい。

問 公共施設は地場業者が責任を持って整備し、守っていくという大原則を念頭に、物価高騰に対応した標準請負工事金額の見直しが必要では。



点字ブロックの役割などの啓発を 日本共産党／新留 久味子



駅前のバス停など点字ブロック上でバス待ちをしている人がいる。これでは、視覚障がい者が安全に歩行できない。

問 安心して歩行できるよう具体的な対策の検討を。

答 安全確保のため、注意喚起を表示するなど早めに対処したい。



問 点字ブロックの役割や意義などを、市の広報

答 ココナ禍により路線バスの状況は厳しく、新規路線の設定やルート延伸は現時点では難しい。



脱炭素社会推進に向けた取り組み 未来むなかた／上野 崇之



問 国交省の小委員会は温室効果ガス排出量の多い下水道分野の省エネ・再エネ化が重要との見解を出した。同分野での本市の取り組みと今後の見込みは。

答 終末処理場では消化ガスを利用し発電しており、昨年度は消費電力の21%、二酸化炭素排出量換算で約70トン削減。施設更新時に水処理系統の集約と最新の省エネ技術導入で、さらに脱炭素化を図られると考える。

寄附制度活用で地域猫活動支援を

市内で地域猫活動に



災害に備えて防災体制の強化を 宗像志政クラブ／石松 修



災害時には、自衛隊への派遣要請依頼や受け入れなどが大事になる。

問 令和4年12月、市主催で「みんなで知ろう！自衛隊」が宗像ユリックスで開催された。イベントの目的、効果は。

答 自衛隊の災害支援の担当部隊や車両などが実際に来たことで、大規模災害時に向けたより具体的な訓練が行われたことが最も大きな効果だと考える。また、市民が自衛隊の災害支援活動について理解する機会となった。

問 災害に備えた備蓄について、情報が不足して



いるのではないかと。令和5年度に計画している新たな防災マップの整備の中で、ホームページでの展開を含めて、改善を図っていききたい。家庭でのローリングストック(※3)など、平時からの取り組みが大変重要だと考えており、今後啓発に努める。

賛成 全員可決

議員提案 宗像市議会の個人情報の保護に関する条例を制定

条例の主な内容

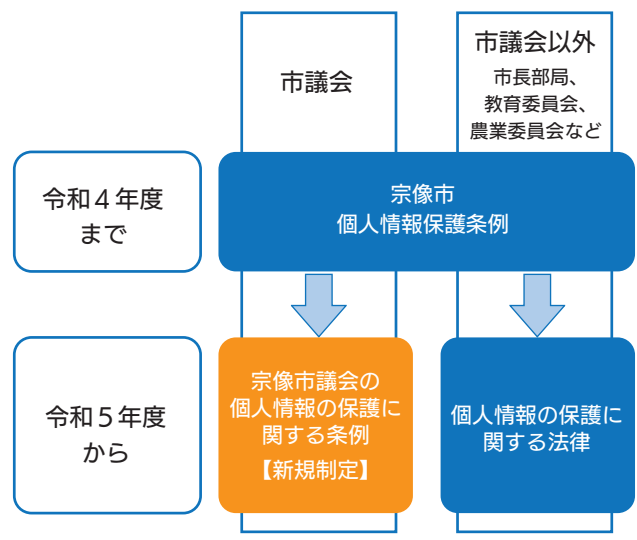
個人情報の保護に関する法律が改正され、令和5年4月から施行された。この改正により、国の行政機関・民間事業者・地方公共団体などの個人情報保護制度が同一の法のルールで運用されることになりました。しかし、地方議会については、国会や裁判所と同様、独立性を確保するという観点から、原則として法の適用対象から除外されています。

このため、宗像市議会では、引き続き、議会が保有する個人情報の適切な取り扱いが確保されるよう、法律に準じた「宗像市議会の個人情報の保護に関する条例」を議員提案により提出し、全会一致で可決しました(令和5年4月1日施行)。

● 個人情報の開示・訂正・利用停止決定などの期限：旧条例と同様に、原則請求のあった日から起算して15日以内とする。

● 個人情報ファイル簿：旧条例と同様に、議会が保有する個人情報ファイルについては、千人未満の個人情報ファイルについても個人情報ファイル簿を作成し、公表する。

宗像市の個人情報保護制度



6月定例会の (予定) 日程

日程	内容
6/9 金	本会議(議案上程、提案理由の説明)
12 月	本会議(一般質問)
13 火	本会議(一般質問)
14 水	本会議(一般質問、大綱質疑)
15 木	本会議予備日
16 金	総務常任委員会
19 月	社会常任委員会
20 火	建設常任委員会
21 水	予算第1 特別委員会(※1)
22 木	予算第2 特別委員会(※2)
30 金	本会議委員会報告、質疑、討論、採決

※1 予算第1：一般会計
※2 予算第2：特別会計・企業会計

一般質問の内容は、開会3日前に議会ホームページに掲載します。質問の提出締切日は6月2日(金)です。

本会議と委員会はホームページで中継しています。スマートフォン・タブレット端末でもご覧いただけます。

※新型コロナウイルス感染症の影響により日程・内容などを変更する場合があります。傍聴される際は事前にホームページで確認するか議会事務局へお問い合わせください。



学生と議会広報編集部の議員

第4回 議会をもっと身近に

大学生×議員

次世代を担う若者に、少しでも議会の存在を身近に感じてほしいという思いから3月30日、福岡教育大学3年生の熊田羽倭（うい）さん、土肥千奈（ちな）さん、門司奈々（なな）さんと、広報編集部の石松修議員、北崎正則議員、石田和代志議員で意見交換を行いました。議場見学や模擬採決も体験してもらいました。

石松 皆さんは大学のSDGsクラブのメンバーということですが、普段の生活で気づいたことはありますか。
門司 ボランティア活動で月

ごみ問題・リサイクルについて



うい 熊田羽倭さん

車を持っていたらとても便利だと思います。



ちな 土肥千奈さん

自然が豊かで特に、大島が好きです



なな 門司奈々さん

若者が行きやすい飲食店が増えると嬉しいです。

宗像市の印象は？



学生目線で持続可能な社会づくりに参画するSDGsクラブの皆さんに貴重な意見をいただきました



議場で採決システムを体験

に2回ほど地島に行っていますが、海のごみがなかなか減らないのが気になります。
熊田 車を持っていないと分別ごみを出しにくいので、ごみの分別が難しいです。
土肥 そもそも学生は分別の意識が低いと感じます。私が分別しようよと声をかけても「面倒くさい」と言われてしまうこともあります。
石松 地域でも月に1回分別収集をやっているのですが、学生の皆さんにもぜひ活用してほしいですね。
北崎 市の広報では学生には伝わりづらいこともあるので、ぜひSDGsクラブの皆さんでごみの問題やリサイクルについて学校新聞などを使って問題提起してみたいです。

学生の皆さんにアドバイス
門司 これから教員、社会人になるにあたって、どんなことをしたらいいでしょうか。
石田 若いうちにいろんなことを体験してほしい。引き出しが多いほど行き詰まったときに解決する力が自然と備わってくるんじゃないかな。
北崎 常にアンテナを張ることが大事な。世の中に無駄なことはないから。今日、ここに来てくれたことも教員になったときに役に立つてくれるかなと思います。

意見交換を終えて

熊田 いろいろなことにチャレンジしてみようと思いました。教員になったときに、自

分の経験として子どもたちに話せるような人になりたいです。
土肥 知ること、行動することがとても大切だと感じました。いろんなことにアンテナを張って子どもたちに伝えられる先生になりたいです。
門司 学べることはまだまだあるんだなと分かったので、自分から動いて学んでいきたいと思いました。
石田 皆さん、とても意識が高く驚かされました。大学生生活を大いに楽しみながら、教員、社会人に向けて頑張ってください。

●この他にも「教員不足について」「ボランティア活動について」などさまざまな意見交換をしました。詳細は議会HPに掲載します。

市議会のくわしい情報や議会中継はホームページをご覧ください。

宗像市議会

検索



ホームページ
二次元コード

お問い合わせは
議会事務局へ
Tel0940(36)1119

編集後記

新型コロナウイルス感染症の拡大も落ち着きが見られ、春爛漫の陽気の中、マスクを着用しない市民も多く見られるようになりました。しかし大学生との意見交換では「素顔を見られたくないのにマスクを外したくない」との声もありました。私も家族以外の前でマスクを外すことにまだためらいはありますが、少しずつ慣れていきたいと思います。

(川内 亮)



コミュニティ会長会との意見交換会

「コミュニティ会長会と意見交換会を行いました」

2月6日にコミュニティ運営協議会会長会と議員で、宗像市の将来のまちづくりについて語り合い、相互理解を深め、協働のまちづくりの推進につなげるため、の意見交換会を3年ぶりに行いました。それぞれの地域が抱える課題に対して真剣に話し合うことができ、貴重な機会となりました。